

2

Program

教育プログラム

プロフェSSIONナルに必要な知識と能力を鍛え上げる

法科大学院に入学すること、それは法曹養成のプロセスの第一歩を踏み出すことです。どのような法律家として活躍したいのか…。その夢の実現のため、意欲ある学生の着実な歩みを保証するカリキュラムを組んでいます。また、複数の教員で担当する科目が多いのも特徴です。

■ 教育プログラム

| | 必修 | 選択必修 | 選択 |
|------------------------|------------------------------------|------|---|
| 法律基本科目群 (a 群 科目) | 60単位 (3年コース) 28単位 (2年コース) | — | 民事系(民法、商法、会社法、民事訴訟法)、刑事系(刑法、刑事訴訟法)、公法系(憲法、行政法)の新司法試験必須科目の士台を固めます。1年次は条文から、2年次は問題に即した視点から、対象を繰り返し学ぶことによって、実践的な解決能力を養えるようにカリキュラムが編成されています。3年次の民事系科目は、特に要件事実留意して授業を進めます。 |
| 実務基礎科目群 (b 群 科目) | 9単位 | 1単位 | 実務家として活動する際に不可欠の「法曹倫理」「法文書作成」等、実務の基礎を学び、模擬裁判も体験します。また、3年次には、法律相談の実習を行う「リーガルクリニック」、法律事務所で法運用の現場を体験する「エクスタージンツップ」等の実習科目が開講されます。 |
| 基礎法学・隣接科目群 (c 群 科目) | — | 6単位 | 導入科目「法システム概論」では法の世界全体の枠組みを概観します。法学関連科目として「法的思考法」「レトリック理論」等が開講されます。外国法科目では英米の法制度・裁判制度全般を学び、また、経済学・政治学に関連した科目として、「金融論」や「政治学」があります。 |
| 展開・先端科目群 (d 群 科目) | — | 12単位 | 民法系、商法・ビジネス法系、民事手続法系、労働法・社会法系、刑事法系、公法系の各科目が開講されています。一部の科目は、弁護士、公証人、司法書士、企業法務部担当者によるセミナー形式で行われ、現場の実務に触れることができます。 |

※各学年における登録単位数の上限は、1年次は36単位、2年次は36単位、3年次は44単位とします。

修了要件

| | | |
|----------------------------|---|-----------------------------|
| 2年コース (法学既修者) 68単位修得 | + | 3年コース (法学未修者) 100単位修得 |
|----------------------------|---|-----------------------------|

最終試験
(口頭試問)

学位(法務博士)授与

司法試験合格

法曹

裁判官

検察官

弁護士

■ 修了後の進路

法科大学院の修了者には、2006年度から始まった新司法試験の受験資格が与えられます。新司法試験合格後は、1年間、司法修習生として法曹になるための勉強をすることになります。司法修習では、全国の実務修習地に配属され、実際の事件を教材に修習します。また、各人の志望を踏まえ、企業や官庁の法務部門での修習等、様々な形で法曹の実務を総合的、選択的に体験します。修習の最後にある最終試験(いわゆる二回試験)に合格すると、法曹資格が与えられます。裁判官は、裁判所で法的紛争を解決する裁判を行うこと、検察官は、犯罪を捜査し、公訴を提起して裁判所に法の適正な運用を求め、刑の執行を監督すること、弁護士は、裁判所で訴訟代理人または弁護人として訴訟活動を行うほか、弱者のための公益的な活動を行ったり、企業法務の専門家としての活動を行うこととなります。

